



福島県いわき市立玉川中学校

学校だより

たまたがわ 4

発行責任者 校長 丹野 英雄

第4号 令和6年7月8日発行

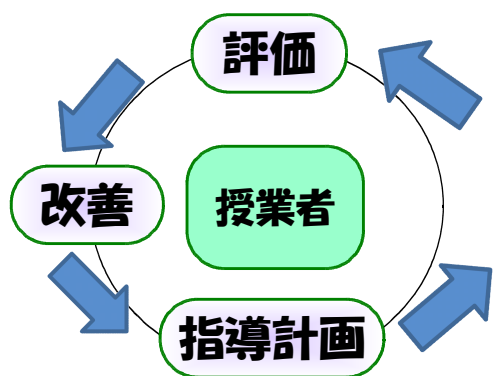
【校章の由来】

中央の円は玉川地区の和と円満さを、縦の2本線は学区内を流れる2つの川を表しています。清い川の流れの水しぶきを受け、発展する玉中を象徴するデザインになっています。

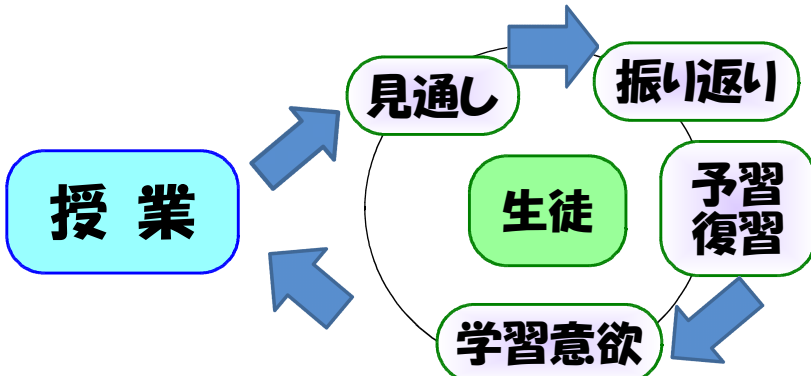
6月18日(火)と19日(水)に1学期の期末テストを行いました。定期テストは、授業の進め方など教師側の指導の改善点を探るとともに、生徒自身が、どの程度の学力を身に付けることができたかを確認する目的で実施しています。限られた範囲に区切って出題することで、テスト結果から自分のつまずきや課題を容易に見つけることができます。

生徒には、見つけた課題の解決に向けて学習計画や学習の仕方を改善するなど、授業と家庭学習を連動させながら学習効果を上げる努力をしてほしいと思います。各教科においても、生徒の実態に即して、「わかる、できる喜び」を味わえるような授業を展開し、それぞれの目指す進路が実現できるよう支援に努めて参ります。

授業改善サイクル



めざす学習サイクル



テスト結果をもとに課題解決の糸口を探ろう！

6月26日(水)13:30から15:00にかけて、高校説明会を開催しました。近隣の高校や希望が多かった高校から校長先生や教頭先生をお招きし、3年生とその保護者の皆さん、さらに2年生を対象に高校のカリキュラムや各校の特性・生徒の活躍の状況などを20分程度で説明いただきました。どの高校の先生も「本人が高校で何を学ぼうとしているのか、しっかりした目的意識をもつことが重要だ。」とおっしゃっていました。

一口に高校といっても、普通科、総合学科、職業系学科など、さまざまな科があるので、近い将来の見通しがないと選択するのに迷うはず。そのため、市

内の中学校としては比較的早い6月に説明会を開催したわけです。また、高校側が求める学力を身に付けておく必要もありますので、これまで以上に意識を高くもって学習に取り組むことを期待したいと思います。

県立高校等の入学者選抜実施要綱は10月中旬に示されるので、3年生とその保護者の皆さんには、10月31日(木)に実施予定の進路説明会で明確な情報をお伝えできるはず。本人の希望はもちろん、保護者の方の思いも確認しながら、個別の相談にも応じていきますので、ぜひ、各家庭においてもお子さんと向き合って近い将来の進路について十分な話し合いを持っておいてください。

中学卒業後の未来予想図は描けているかな？

中学生は「見守られる側」から「見守る側」へ

子供たちのまわりには、犯罪や交通事故、自然災害など、さまざまな危険が潜んでいます。そのような危険から子供たちの安全・安心を確保する上で、交通指導員の方をはじめ、保護者や地域の皆さんによる日頃からの見守りは大変に心強く、感謝しております。

さて、危険から子供を守るためには、大人が安全・安心な環境を整えることに加え、もうひとつ大切な視点があります。それは「安全教育」です。「安全教育」とは、危険を察知し、回避する力を身に付けるために行う教育です。欧米では、「子供が池に落ちないように柵で囲おう」という発想ではなく、「池に落ちた時でも溺れないように泳ぎを教えよう」という発想をするそうです。生活している以上、危険はつきもの。いざ、危険に遭遇した時の対処法を体得しておくことのほうが大事だという教えですね。

親や先生といっても子供一人一人を24時間見守り続けることは不可能です。大人の目が届かない時間帯や場所など、死角や盲点が生まれてしまうからです。そのような場合でも、子供が自分に起こりうる危険を予測し、自らの身を守る術を知っていれば、かなりのリスクを回避できるでしょう。親が子供の安全・安心を思ってGPS機能付きのスマートフォンを

持たせて居場所を確認しようとしても、子供自身がSNSを介して不審な人物と知り合ってしまったとしたら、何が安全・安心かわかりません。ですから、安全・安心な環境を整えることと併せ、子供たち自身に危険を察知し、回避する力を身に付けさせる必要があるのです。

信号機がある交差点で横断待ちしている時でも、道路間際よりも奥まった場所にいるほうが事故に遭うリスクは格段に減ります。少しでも早く横断したい気持ちはあるでしょうが、「ハンドル操作を間違った車が突っ込んできたら危ないな」と予測する力も持たせたいと思います。中学生は、その判断力や行動力を体得する上での適切な年代ともいえます。

小学生の頃は、大人の人に「見守られる側」であったでしょう。しかし、これからは小さな子供を「見守る側」へと成長が期待されます。安全・安心な暮らしを守るためには、地域ぐるみで、そのような安全教育のサイクルを構築していく必要があると感じています。中学生が、今まで教え導いてもらった知識や行動の仕方を今度は伝える側になるのです。中学校では、自分自身はもちろんのこと周囲の人の安全にも配慮した行動がとれる生徒の育成をこれからも目指していきます。

【全校生徒で思春期講座を受講しました。】

6月20日(木)に、いわき市医療センター地域産婦人科支援講座教授の先生を講師にお招きし、興味本位の安易な性交渉が心身にダメージをもたらす事案や性感染症の事案など、ご指導を受けました。開放的な気持ちになりがちな夏休みですが、生徒の皆さんには性に関する正しい知識を理解し適切な行動選択をしてほしいと願っています。

【全校生徒が防犯教室に臨みました。】

7月3日(水)に、校地内に不審者が侵入する想定で防犯避難訓練を実施するとともに、いわき東警察署員の方を講師にお招きし、危機察知や危機回避の能力を身に付け、犯罪から身を守るために心がけておくべきことなどを教えていただきました。

【2年生はファイナンスパークを実体験しました。】

7月5日(金)に、いわき市平にある体験型経済施設Elem(エリム)に2年生が出かけ、家計のやりくりなどを実践的に学びました。生徒たちは与えられた条件の中で収支バランスを考え、黒字を出せるように知恵を出し合いながら体験活動に取り組んでいました。なお、ボランティアとして保護者の方々にもご協力いただきました。お忙しい中、大変お世話になりました。ありがとうございました。

【教育目標】

健康でたくましく生きる生徒
自ら進んで学習する生徒
思いやりをもち奉仕する生徒



QRコードを読み取ると本校ホームページにつながります。

〒971-8127

福島県いわき市小名浜玉川町西24番地

TEL 0246-58-6711 FAX 0246-58-6712

E-mail tamagawa-jh@city.iwaki.lg.jp